

われら サークル仲間

野田歌謡クラブ

今回は野田公民館で活動している「野田歌謡クラブ」におじゃましました。

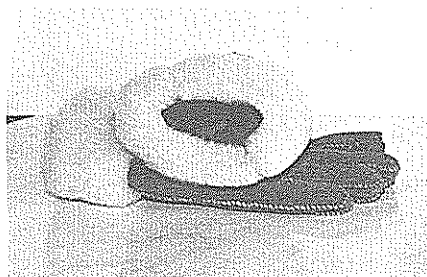
クラブ員の恒石種美さんはクラブについて次のように紹介してくれました。
『趣味は健康のもとであり生きがいだ、とクラブ員みんなの思いは一致しています。クラブの発端は演歌の同好者が公民館長や周辺に住まいの皆さんの温かいご理解のもと、素晴らしい歌唱力に



富んでいる森田三国王会長の働きかけで老若男女、定員二十人で六年前誕生となりました。
木の香り漂う新公民館の舞台で、自分好みの演歌を存分に歌わせてもらっています。
このクラブがいつまでも続くよう協力し、他クラブとの交流も深め、輪を大きく広げをモットーにして幸せ人生を歩んでいきたい、そんな願いの野田歌謡クラブです。』

このコーナーでは、各地区の公民館で楽しく活動している皆さんを紹介しています。

これはなんでしょう



親子クイズ 238

第237回当選者発表表 (敬称略)

(応募総数53通)

- 岩貞泰子 (西山)
- おさきみわ (大埔)
- 山中恵理子 (篠原)
- 三木奈津子 (岡豊町)
- 川本聖 (大埔)

- お便りの中から皆さんの思い出の一部をご紹介します。
- ◆年の暮れともなると何かと慌ただしい日々の中で、自己流で門松を作って新年を迎えます。
- ◆私たちが子供のころはあちこちで見られた門松も、今は印刷されたのがほとんどでさびしい気持ちです。
- ◆子供のころ、今は亡き祖父が暮れになるとマキをたばねて作っていたのを思い出します。
- ◆私が小学生のころは父が山から切ってきた木や竹で手作りの門松を作り、私も手伝ったのを覚えています。
- ◆お正月に店の前などで飾られている門松。見ると、新しい年の始まりなんだと改めて実感します。
- ◆雌松と雄松の違いを知っていますか。古くは旧暦で正月をしていましたが、暮れになると近くの山に行って雌、雄のそれぞれの松を採ってくるのが子供たちの、正月を待つ楽しみでした。帰りには笹や梅の枝などを折ってきて門松を作ってもらいました。遠い日の思い出です。
- ◆小学生のころ、冬休みの宿題として折り紙とボール紙で門松を作った思い出があります。
- ◆昔、タキモノで御飯を炊いていました。そのタキモノを三本合わせて門松を作ったことでした。大きいのは作れませんでした。子供と四人で作ったことがこの間みたな気がしました。
- ◆昔、子供が門松を初めて見て「あれ、なあに？」と指さして私に言ったことを思い出します。月日の流れは早いですね。
- ◆昔はよく見かけたものですが、最近はずららしいものとなりました。私の家でも去年までは作っていましたが、今年には作りませんでした。

答えについての思い出などもお待ちしています。
しめきり 2月20日
あて先 〒783 南国市大埔甲二三〇一 南国市広報委員会 親子クイズ係
賞品 正解者の中から抽選で5人に図書券を進呈
◎第237回親子クイズの答えは、門松でした。